



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 青山商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 8219 URL <https://www.aoyama-syouji.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理
取締役兼専務執行役員
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部長兼(氏名) 山根 康一 (TEL) 084-920-0050
総合企画部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	83,013	6.7	1,399	—	1,797	—	463	—
2023年3月期第2四半期	77,809	—	△1,775	—	△438	—	△2,451	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,060百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △1,715百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	9.30	—
2023年3月期第2四半期	△49.20	—

(注) 2024年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。表示方法の変更の内容については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(追加情報)(表示方法の変更)」をご覧ください。なお、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、表示方法の変更を反映させた組替え後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	327,300	170,795	51.1
2023年3月期	336,244	170,029	49.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 167,150百万円 2023年3月期 166,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,500	4.8	11,400	52.5	11,700	34.0	7,200	68.3	144.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

従来、営業外収益及び営業外費用に計上しておりました不動産賃貸料及び不動産賃貸原価は、2024年3月期より売上高及び売上原価に計上する方法に変更しております。なお、2024年3月期の予想には不動産賃貸に係る売上高1,948百万円及び営業利益322百万円を含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	50,394,016株	2023年3月期	50,394,016株
2024年3月期2Q	532,197株	2023年3月期	551,263株
2024年3月期2Q	49,849,673株	2023年3月期2Q	49,827,533株

(注) 期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託 (J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年3月期2Q 329,700株、2023年3月期 333,300株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年3月期2Q 331,550株、2023年3月期2Q 339,016株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年11月15日 (水) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (Web) を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2024年3月期の個別業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	130,100	4.7	6,500	66.9	7,600	43.7	5,000	116.3	100.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

従来、営業外収益及び営業外費用に計上しておりました不動産賃貸料及び不動産賃貸原価は、2024年3月期より売上高及び売上原価に計上する方法に変更しております。なお、2024年3月期の予想には不動産賃貸に係る売上高3,000百万円及び営業利益500百万円を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	10
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	12
4. 補足情報	13
(1) 青山商事(株) ビジネスウェア事業の商品別売上高	13
(2) 青山商事(株) ビジネスウェア事業の店舗数	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)	当第2四半期	前第2四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	53,528	49,047	4,480	109.1	△606	△3,319	2,712	—
カード事業	2,498	2,518	△20	99.2	1,134	1,147	△12	98.9
印刷・メディア事業	5,069	5,196	△126	97.6	△99	6	△106	—
雑貨販売事業	7,721	8,027	△306	96.2	171	180	△9	95.0
総合リペアサービス事業	6,399	6,002	397	106.6	63	53	10	120.1
フランチャイジー事業	7,179	6,219	959	115.4	465	409	56	113.7
不動産事業	1,548	1,492	55	103.8	276	1	274	—
その他	852	888	△36	95.9	△24	△106	82	—
調整額	△1,783	△1,583	△199	—	17	△149	166	—
合計	83,013	77,809	5,204	106.7	1,399	△1,775	3,174	—

(注) 1. セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

2. 第1四半期連結会計期間より、不動産賃貸収入が安定的な収入源であるとの認識及び不動産賃貸物件の増加による不動産賃貸収入の増加が見込まれること、また、当社の賃貸用不動産を一元管理、運営する部門において収益性を適切に管理することとなったことなどから、新たな報告セグメントとして「不動産事業」を追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことに伴い行動制限の緩和が進み、社会経済活動の正常化がより一層進みました。しかしながら、物価上昇や金融資本市場の変動などによる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

このような状況下、当社グループにおきましても、ビジネスウェア事業を始め、総合リペアサービス事業やフランチャイジー事業において価格の見直しを行ったことや、行動制限の緩和に伴う人流の回復を受けたことなどから、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 830億13百万円(前年同期比106.7%)
 営業利益 13億99百万円(前年同期は営業損失17億75百万円)
 経常利益 17億97百万円(前年同期は経常損失4億38百万円)
 親会社株主に帰属する四半期純利益 4億63百万円
 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24億51百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株) ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司、メルボメンズウェア(株)]

当事業の売上高は535億28百万円(前年同期比109.1%)、セグメント損失(営業損失)は6億6百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)33億19百万円)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)ビジネスウェア事業につきましては、洋服の青山などへ導入しているオーダースーツブランド「Quality Order SHITATE」が概ね全店へ導入され、より多くのお客様へオーダーサービスを提供できる環境を整備したことや、4ブランドを1店舗に集結したOMO型店舗「SUIT SQUARE」を新たに始動させ、効率的な店舗運営を推し進めてきたことなどから、当第2四半期(4月～9月)のビジネスウェア事業既存店売上高は前年同期比109.3%となりました。

＜青山商事(株)ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移＞ (単位：%)

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
売上	119.0	122.6	109.3
客数	100.9	114.0	104.8
客単価	117.9	107.5	104.3

なお、当第2四半期まで(4月～9月)のメンズスーツの販売着数は前年同期比96.5%の409千着、平均販売単価は前年同期比114.8%の31,668円となりました。

＜青山商事(株)メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
販売着数(千着)	377	424	409
平均販売単価(円)	26,517	27,589	31,668

当第2四半期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2023年9月末現在)＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)				青山洋服商業(上海)有限公司	メルボメンズウェア(株)
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージメジャーズ	合計	洋服の青山	麻布テーラー
出店〔内 移転〕 (4月～9月)	1〔1〕	3〔1〕	0	4〔2〕	0	1
閉店(4月～9月)	7	1	1	9	5	0
期末店舗数(9月末)	688	43	14	745	10	27

- (注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「スーツスクエア」、「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。また、「ユニバーサルランゲージメジャーズ」には「ユニバーサルランゲージ」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。
 2. 青山洋服商業(上海)有限公司の出店・閉店は2023年1月～6月、期末店舗数は2023年6月末の店舗数であります。
 3. メルボメンズウェア(株)の出店・閉店は2023年3月～8月、期末店舗数は2023年8月末の店舗数であります。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング及びキャッシング取扱高は増加したものの、営業貸付金利息が減少したことなどから、売上高は24億98百万円(前年同期比99.2%)、セグメント利益(営業利益)は11億34百万円(前年同期比98.9%)となりました。

また、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入れと社債の発行により調達しております。

＜カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移＞

	2022年8月期	2023年2月期	2023年8月期
有効会員数(万人)	404	400	395
営業貸付金残高(百万円)	51,778	52,889	52,100

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、印刷・DM売上は増加したものの、販促物・電子販促・デバイス売上が減少したことなどから、売上高は50億69百万円(前年同期比97.6%)、セグメント損失(営業損失)は99百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)6百万円)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、不採算店舗の閉店を行ったことや、仕入原価の高騰に伴う売上総利益率の減少などから、売上高は77億21百万円（前年同期比96.2%）、セグメント利益（営業利益）は1億71百万円（前年同期比95.0%）となりました。

なお、2023年8月末の店舗数は109店舗（2022年8月末 116店舗）であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、海外事業を始め、日本事業も回復がみられたことや、サービス価格の改定を行ったことなどから、売上高は63億99百万円（前年同期比106.6%）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同期比120.1%）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（2023年9月末現在）＞

（単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～9月）	5	9	0	14
閉店（4月～9月）	7	0	0	7
期末店舗数（9月末）	255	326	34	615

（注）「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシアであります。

《フランチャイジー事業》〔(株)glob〕

当事業につきましては、各業態とも前年を上回る推移となる中、特にフードサービス事業にて展開している、焼肉きんぐが大きく牽引したことなどから、売上高は71億79百万円（前年同期比115.4%）、セグメント利益（営業利益）は4億65百万円（前年同期比113.7%）となりました。

当第2四半期まで（4月～9月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜フランチャイジー事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2023年9月末現在）＞

（単位：店）

業態名	フードサービス事業		リユース事業	フィットネス事業
	焼肉きんぐ	ゆず庵	セカンドストリート	エニタイムフィットネス
出店（4月～9月）	1	0	1	2
閉店（4月～9月）	0	0	0	0
期末店舗数（9月末）	40	13	18	8

（注）2023年8月26日付で、ジャンブルストア1店舗をセカンドストリートへ業態変更したため、ジャンブルストアの期末店舗数は0店舗となりました。

《不動産事業》〔青山商事(株) 不動産事業〕

第1四半期連結会計期間より、不動産賃貸収入が安定的な収入源であるとの認識及び不動産賃貸物件の増加による不動産賃貸収入の増加が見込まれること、また、当社の賃貸用不動産を一元管理、運営する部門において収益性を適切に管理することとなったことなどから、新たな報告セグメントとして「不動産事業」を追加しております。

当事業につきましては、売上高は15億48百万円（前年同期比103.8%）、セグメント利益（営業利益）は2億76百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）1百万円）となりました。

《その他》〔(株)WTW、(株)カスタムライフ〕

その他の事業につきましては、売上高は8億52百万円（前年同期比95.9%）、セグメント損失（営業損失）は24百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億6百万円）となりました。

なお、2023年9月末の「ダブルティー」の店舗数は5店舗（2022年9月末 7店舗）であります。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月10日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,102	84,855
受取手形及び売掛金	16,354	10,095
商品及び製品	38,796	45,481
仕掛品	577	513
原材料及び貯蔵品	2,605	2,743
営業貸付金	52,889	52,100
その他	3,972	3,244
貸倒引当金	△138	△151
流動資産合計	208,160	198,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,584	33,422
土地	40,489	40,529
その他（純額）	10,114	10,347
有形固定資産合計	84,187	84,299
無形固定資産		
のれん	4,377	4,170
その他	4,990	4,886
無形固定資産合計	9,368	9,057
投資その他の資産		
敷金及び保証金	17,064	16,598
その他	17,677	18,692
貸倒引当金	△289	△283
投資その他の資産合計	34,453	35,007
固定資産合計	128,009	128,364
繰延資産合計	75	53
資産合計	336,244	327,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,504	11,661
電子記録債務	13,369	9,992
1年内償還予定の社債	2,040	7,020
短期借入金	36,179	40,636
未払法人税等	1,638	1,386
契約負債	1,681	1,713
賞与引当金	1,632	1,518
その他	14,699	12,512
流動負債合計	85,744	86,441
固定負債		
社債	21,005	16,000
長期借入金	42,478	37,073
退職給付に係る負債	8,345	8,494
その他	8,641	8,496
固定負債合計	80,470	70,063
負債合計	166,214	156,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,401	62,358
利益剰余金	56,625	55,784
自己株式	△1,511	△1,442
株主資本合計	180,019	179,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,220	2,192
繰延ヘッジ損益	△10	1
土地再評価差額金	△14,815	△14,815
為替換算調整勘定	355	955
退職給付に係る調整累計額	△329	△389
その他の包括利益累計額合計	△13,578	△12,054
非支配株主持分	3,588	3,644
純資産合計	170,029	170,795
負債純資産合計	336,244	327,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	77,809	83,013
売上原価	39,115	40,845
売上総利益	38,693	42,168
販売費及び一般管理費	40,468	40,769
営業利益又は営業損失(△)	△1,775	1,399
営業外収益		
受取利息	32	63
受取配当金	91	95
不動産賃貸料	11	16
デリバティブ評価益	161	—
為替差益	849	331
助成金収入	170	2
その他	207	178
営業外収益合計	1,524	688
営業外費用		
支払利息	154	165
デリバティブ評価損	—	78
その他	32	46
営業外費用合計	187	290
経常利益又は経常損失(△)	△438	1,797
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	67	—
特別利益合計	69	4
特別損失		
固定資産除売却損	114	59
減損損失	856	177
投資有価証券売却損	2	—
災害による損失	8	—
特別損失合計	981	237
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,350	1,564
法人税等	1,013	1,035
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,364	528
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	64
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,451	463

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,364	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302	972
繰延ヘッジ損益	46	11
為替換算調整勘定	194	602
退職給付に係る調整額	105	△54
その他の包括利益合計	649	1,531
四半期包括利益	△1,715	2,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,806	1,987
非支配株主に係る四半期包括利益	91	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用については「営業外収益」及び「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に計上する方法に変更しております。

この変更は、不動産賃貸収入が安定的な収入源であるとの認識及び不動産賃貸物件の増加による不動産賃貸収入の増加が見込まれること、また、当社の賃貸用不動産を一元管理、運営する部門において、収益性を適切に管理することとなったことなどから、各事業実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「不動産賃貸料」に表示していた1,004百万円は「売上高」に組替えるとともに、「営業外費用」に表示していた「不動産賃貸原価」902百万円は「売上原価」に組替えを行っております。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「投資不動産(純額)」に表示していた2,769百万円は、有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」に388百万円、「土地」に2,381百万円、「その他」に0百万円組替えを行っております。

3. (参考)四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,583	53,352
商品及び製品	35,304	41,538
原材料及び貯蔵品	512	616
関係会社短期貸付金	9,701	9,701
その他	13,028	6,008
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	120,125	111,215
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,135	25,785
土地	38,247	38,290
その他(純額)	7,311	7,085
有形固定資産合計	71,693	71,160
無形固定資産		
投資その他の資産	2,583	2,499
投資その他の資産		
投資有価証券	5,467	6,789
敷金及び保証金	15,154	14,667
その他	27,720	27,314
貸倒引当金	△282	△282
投資その他の資産合計	48,060	48,488
固定資産合計	122,338	122,148
繰延資産		
社債発行費	34	27
資産合計	242,498	233,391
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,347	7,689
電子記録債務	13,146	9,866
短期借入金	24,400	24,400
未払法人税等	683	515
契約負債	1,681	1,713
賞与引当金	957	922
その他	9,256	6,839
流動負債合計	60,472	51,948
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,600	14,250
退職給付引当金	7,141	7,231
その他	4,093	3,896
固定負債合計	35,835	35,378
負債合計	96,308	87,326

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2023年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,463	62,420
利益剰余金	36,225	35,098
自己株式	△1,511	△1,442
株主資本合計	159,681	158,580
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,252	2,228
土地再評価差額金	△14,744	△14,744
評価・換算差額等合計	△13,491	△12,515
純資産合計	146,190	146,065
負債純資産合計	242,498	233,391

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	48,661	51,781
売上原価	22,243	23,083
売上総利益	26,418	28,697
販売費及び一般管理費	29,511	29,219
営業損失(△)	△3,093	△521
営業外収益		
受取利息	50	43
受取配当金	725	985
デリバティブ評価益	162	—
為替差益	540	168
その他	63	107
営業外収益合計	1,541	1,305
営業外費用		
支払利息	82	80
デリバティブ評価損	—	78
その他	20	28
営業外費用合計	102	187
経常利益又は経常損失(△)	△1,654	596
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	84	41
減損損失	856	177
災害による損失	8	—
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	951	218
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,605	378
法人税等	149	201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,755	177

4. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		当第2四半期 累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
重衣料	スーツ・スリーピース	11,684	24.8	12,848	25.6	1,163	110.0
	ジャケット	1,560	3.3	1,871	3.7	310	119.9
	スラックス	2,811	6.0	2,953	5.9	141	105.0
	コート	89	0.2	65	0.1	△23	73.2
	フォーマル	7,697	16.3	8,235	16.4	537	107.0
	ベスト	296	0.6	347	0.7	50	117.1
	小計	24,140	51.2	26,321	52.4	2,181	109.0
軽衣料	シャツ・洋品類	8,988	19.1	9,480	18.9	491	105.5
	カジュアル類	1,154	2.5	1,254	2.5	100	108.7
	その他商品	3,729	7.8	4,025	8.0	296	107.9
小計	13,872	29.4	14,760	29.4	887	106.4	
レディース類		7,688	16.3	7,760	15.4	71	100.9
補正加工賃		1,467	3.1	1,390	2.8	△77	94.7
合計		47,169	100.0	50,232	100.0	3,063	106.5

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等であります。
 2. レディース類には、レディーススーツやレディースフォーマル、レディース洋品類、パンプス等が含まれております。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数 (2023年9月末現在)

(単位：店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2023年9月末 合計	2023年3月末 合計	増減
北海道	32	1		33	33	
北海道地方計	32	1	0	33	33	0
青森県	9			9	9	
岩手県	8			8	8	
宮城県	11	1		12	12	
秋田県	9			9	9	
山形県	9			9	9	
福島県	10			10	10	
東北地方計	56	1	0	57	57	0
茨城県	16			16	16	
栃木県	10			10	10	
群馬県	13	1		14	14	
埼玉県	39	3	1	43	43	
千葉県	34	3	1	38	38	
東京都	61	12	5	78	78	
神奈川県	34	3	2	39	41	△2
関東地方計	207	22	9	238	240	△2
新潟県	15	1		16	16	
富山県	6			6	6	
石川県	6	1		7	7	
福井県	5			5	5	
山梨県	4			4	4	
長野県	12			12	12	
岐阜県	12			12	12	
静岡県	26			26	26	
愛知県	39	1	1	41	41	
中部地方計	125	3	1	129	129	0

(単位：店)

地 域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2023年9月末 合計	2023年3月末 合計	増減
三重県	11			11	11	
滋賀県	10	1		11	11	
京都府	15	1		16	17	△1
大阪府	37	4	2	43	44	△1
兵庫県	27	2	1	30	32	△2
奈良県	8			8	8	
和歌山県	6			6	6	
近畿地方計	114	8	3	125	129	△4
鳥取県	3			3	3	
島根県	4			4	4	
岡山県	10	1		11	11	
広島県	17	3	1	21	21	
山口県	10			10	10	
中国地方計	44	4	1	49	49	0
徳島県	4			4	4	
香川県	5			5	5	
愛媛県	9	1		10	10	
高知県	5			5	5	
四国地方計	23	1	0	24	24	0
福岡県	28	2		30	31	△1
佐賀県	7			7	7	
長崎県	7			7	7	
熊本県	10	1		11	11	
大分県	9			9	9	
宮崎県	9			9	9	
鹿児島県	10			10	10	
沖縄県	7			7	7	
九州地方計	87	3	0	90	91	△1
合計	688	43	14	745	752	△7

(注) 1. 店舗の出退店等の状況(当第2四半期まで(4月～9月))

	出店	内 移 転		閉店
		内 移 転	内 移 転	
洋服の青山	1	1		7
ザ・スーツカンパニー	3	1		1
ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	0	0		1
計	4	2		9

2. 「ザ・スーツカンパニー」には「スーツスクエア」、「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。また、「ユニバーサル ランゲージ メジャーズ」には「ユニバーサル ランゲージ」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。